

市への要望

自主防災組織名	要望事項	対 応
下町3丁目地区 自主防災組織	◆集中豪雨時の浸水被害予防のための土のうステーションの設置	◆防災訓練への補助金により購入、防災訓練の一環として土のうを作成することを提案する。
富士見台自治会 自主防災会	◆非常時の定義、非常時に行政が求める事項の整理 ◆非常時対応マニュアルの提示	◆自主防災能力の向上には、どのような危険があり、どの様に対処するのかを自らが考えることが重要である。防災会議等で地域住民と話し合い、地域の特性に応じたマニュアルの作成が肝要である。行政としては、自主防災会議等へ参加し、アドバイスすることは可能である。
	◆非常時の情報の取得についての資料や係り方を検討してほしい。	◆情報収集要領（災害に関する連絡先）についてホームページへの掲載を検討する。 別紙第4「災害時情報入手方法」
	◆地域での備えに対する、整備・備品に30万の補助金（創立後10年以上・1回のみ）があるが、定期的な補助を検討してほしい。	◆30万の補助金については、県の立上げ補助金制度設立以前に自主防災組織を立ち上げた地区に補助したものである。 【補足】平成27年県以降設立した自主防災組織には設立費用として県の補助金を財源に50万円を補助、それ以前に設立した自主防災組織は30万円を補助 ◆自主防災組織の活動補助は必要という認識はある。市の予算を踏まえて考えていく。
	◆活動補助金の5万円（年1回）の利用基準の一品当たりの購入限度額（1万円）の制度を撤廃し自由度を上げてほしい。	◆県の補助金制度であり、これを変更することは困難である。しかし、単品価格が1万円以内であれば良いという枠組みであるので、部品で購入する等の考えもできると思料する。 個別に相談してもらいたい。

自主防災組織名	要望事項	対 応
田越地区 自主防災組織	◆防災教育の実施 水害への対応、土砂災害の危険性	◆自主防災組織からの要望により教育の実施を検討
辺田第2地区 自主防災会	◆自主防災組織に対し、行政側からの義務的な要求をしないでほしい。区長兼務であり業務多忙のため。	◆行政から義務的な要求は実施していない。要望がある場合は、あくまで任意である。
	◆1品1万円の制約に特例を設けてほしい。	◆特例については県と相談し検討する。
宮前地区 自主防災会	◆地区内に把握しているだけでも介助を必要とする方が16名、車いすを使用している方が10名いる。人手の足りない日中に災害が発生した場合、避難支援をどのようにするのか不安である。	◆避難時要配慮者については、個別避難計画を作成することとなっており、今後、行政、民生委員、自主防災会との協議が必要となると思われる。
白幡区 自主防災会	◆緊急時の行政の役割の明文化	◆行政の業務を提示 別紙第1「市の災害対策業務」
	◆市が準備している物、防災会や個人で準備する物	◆市の備蓄品と準備すべき物を提示 別紙第2「備蓄リスト」
	◆災害発生が平日・休日・昼間・夜間で雨・晴れで具体的な避難要領の説明が必要	◆自主防災の特性に応じて相違することから、防災会議等で自主防災毎の具体化が必要
宿南・みどり台	◆年1回、日曜日の午前に各防災組織を訪れての防災教育	◆要望により、日程の都合により可能 (講話内容のニーズが必要)
松尾地区 自主防災会	◆備蓄しておくべき物資の目安	◆白幡区への回答に同じ。
	◆自主防災組織の立上げの根拠	◆県の要請(お願い)
諸木内区 自主防災会	◆山武市内で想定される災害に対応した「自主防災組織活動マニュアル」を作成してほしい。	◆災害対処の実効性の向上には、地域の特性に応じたマニュアルの作成が必要であり、防災会議等で住民とともに作成することが重要で、行政がその場で支援することは可能である。
	◆自主防災会で防災講演会等を行う場合、講師を斡旋してほしい。	◆必要により、市で講話も可能

自主防災組織名	要望事項	対 応
大木大地区 自主防災会	◆私達一人一人が「災害対応能力」を身に着けることが、災害被害を軽減するために重要である。	◆まさしく、「自助」「共助」の考え方に沿うものであると思います。行政としても微力ながら協力します。
日向ニュータウン 自主防災会	◆各家庭に対し、食料、水、防災備品等の備蓄を呼びかけの実施	◆機会を捉え、呼びかけを実施
日向台地区 自主防災防犯	◆住民の防災意識高揚のために広報への活動掲載、講話等の実施	◆広報「さんむ」、ホームページに掲載 ◆講演については、要望により実施予定
	◆火災報知器、耐震器具等の大量購入によるコストダウン	◆他の自主防災会と要望が重なれば可能
	◆防災士と自主防災の連携	◆市としても連携強化に協力
原横地地区 自主防災会	◆震災時の指揮系統の統一化	◆発災当初は、自主防災会独自で、連絡手段の確保及び災害対策本部が機能した段階で、行政が一部を統制
六軒家諏訪台 地区自主防災会	◆井ノ内地区に計画している津波避難施設「築山」の着実な建設を要望します。また、普段住民が親しめるような設備を要望します。	◆現在、建設に向け用地買収の調整を実施中
津辺区 自主防災会	◆住民に対する防災教育、講話、訓練指導	◆要望により積極的に検討する。 ◆他の自主防災組織の活動紹介 別紙第3「過去の自主防災組織の活動状況」
関之下 自主防災会	◆防災に対する意識の向上	
蓮沼地区上谷区 自主防災会	◆3. 1 1津波のDVD等があれば地区へ貸し出してほしい。	◆市での保有している物についての貸し出しは可能 ◆東北地方の津波DVDについて、県に保有を確認中
五木田区 自主防災会	◆住民に対する避難、防災の資料等の配布	◆要望により検討する。
姫島区 自主防災会	◆自主防災組織を市民全体に広めるためには、具体的な活動事例を紹介しながら広報することを希望する。 ◆訓練活動事例集を提示してもらいたい。	◆今後、ホームページ及び広報「さんむ」により紹介していく。 ◆この資料をもって提示する。

自主防災組織名	要望事項	対 応
蓮沼自主防災会 連合会	◆蓮沼自主防災会連合会の運営に対する協力	◆できる範囲で協力していく。
愛宕台区 自主防災会	◆近い地区（辺田地区、富士見台、上町）合同での大規模防災訓練を企画してほしい。	◆何らかの形で提案していく。
北戸田下地区 自主防災会	◆各地区、各家庭に回覧掲示による市からの防災教育（ポスター等）	◆作成を検討する。 ◆全戸配布したハザードマップの活用を推奨
	◆市の防災設備等の現在の状況の情報提供	◆備蓄について提示 別紙第2「備蓄品リスト」

市の災害対応業務

災害対策業務《抜粋》（通常の継続すべき業務は除く）

- ・ 関係機関（県・他の行政、警察・消防・自衛隊等）との調整、消防団の運営
- ・ 被害情報、関係機関の状況の把握
- ・ 他市町村の応援要請、災害義援金の受入れ
- ・ 広報（被害状況の記録等）、ボランティア受入
- ・ 職員安否確認と職員配置、庁舎機能の維持

- ・ 市民の安否把握、被害調査、被害者名簿の作成
- ・ 被災地の防犯
- ・ 遺体の安置・処置・埋葬
- ・ 被害認定調査、り災証明の発行
- ・ 被害者相談窓口の開設・運営

- ・ 災害時要配慮者の安否確認及び避難生活支援
- ・ 福祉避難所の開設・運営
- ・ 災害救済法の適用事務、災害弔慰金の申請・支給
- ・ こども園。幼稚園児童の救護及び安全避難対策
- ・ 救護所の設置・運営、救護半島の連絡調整
- ・ 医薬品等の確保、医療要支援者の支援、健康管理及び防疫
- ・ 病院・診療所の把握及び傷病者の受入れ

- ・ 児童・生徒施設利用者の安全確保
- ・ 災害時の応急教育
- ・ 被災児童、生徒の学用品等の取得・支給
- ・ 被災地の炊出し及び配給
- ・ 所轄施設の避難所等の利用

災害対策業務《抜粋》（通常の継続すべき業務は除く）

- ・ 食料・生活必需品の調達及び供給
 - ・ 救援物資の受入れ
 - ・ 被災した農・商・工業者に対する緊急融資
 - ・ 家畜の防疫、ペット
 - ・ 農地及び農業用施設の被害調査及び応急・復旧対策
 - ・ 治山対策
 - ・ 帰宅困難者の一時滞在及び支援
 - ・ ゴミ及びし尿処理、災害廃棄物処理対策
 - ・ 山武郡広域水道企業団との調整
- ・ 給水区域内水道施設の被害調査及び応急・復旧対策
 - ・ 給水活動
 - ・ 県への応援要請
- ・ 道路、橋梁等の被害調査及び応急・復旧対策
 - ・ 排水路の被害調査及び応急・復旧対策
 - ・ 緊急輸送路の確保、交通規制状況の把握
 - ・ 道路障害物の除去
 - ・ 応急土木資材の調達及び工事関係者との連絡・協力要請
 - ・ 急傾斜地の調査
 - ・ 災害危険区域の警戒・巡視
 - ・ 被災建築物の応急危険度判定
 - ・ 宅地危険度判定
 - ・ 応急仮設住宅の用地確保、建設、管理

項 目	内 容	
事前準備	自主防災組織防災計画作成	◆組織の編成・任務分担、防災知識の普及、災害危険の把握
	防災訓練の実施	◆個別訓練：情報収集・伝達訓練、消火訓練、避難訓練、救出・救護訓練、給食・給水訓練 ◆総合訓練：2以上の個別訓練を総合的に訓練 ◆体験イベント型訓練：煙体験、地震体験車等 ◆図上訓練：HUG（避難所運営）DIG（災害図上訓練：被害想定に基づく図上訓練）
災害時	情報の収集・伝達	◆地域内の災害情報、防災関係機関及び報道機関の提供する情報の収集 ◆必要と認める情報の地域住民への伝達
	避 難	◆地域の人員の掌握、安否確認 ◆避難時要支援者の避難支援 ◆避難誘導
	救出・救護	◆地域の倒壊家屋の下敷きになっている人の救出 ◆負傷者の搬送 ◆負傷者の応急手当
	避難所運営	◆避難所の区分け ◆避難所避難者名簿の作成 ◆ペットの取り扱い ◆物資のニーズ確認 ◆物資拠点からの物資輸送 ◆物資配分 ◆炊出し ◆避難者の健康状態の把握 ◆避難所会議の実施：避難者の要望の把握、災害情報の収集・伝達、避難所の問題点の把握及び改善策の検討 ◆市職員に対する要望事項等の伝達

備蓄品リスト

市で準備している物（備蓄倉庫1カ所分）

活動の区分	使用する設備又は資器材
避難誘導・避難所生活	懐中電灯×3、コードリール×1、発電機×1、ガソリン、救急箱×1、ドライバー等、大人用紙おむつ、乳幼児用おむつ、哺乳瓶、ミルク、携帯コンロ、調理用品一式、生理用品、簡易トイレ（凝固式）、トイレットペーパー、水（500ml×24本×20箱）、食料（アルファ米×50食×8箱）、おかゆ（50食×4箱）、パン（24缶×8箱）、扇風機×3、ストーブ×3

【例】防災会、個人で準備する物

活動の区分	使用する設備又は資器材
情報収集・伝達	テレビ、ラジオ、タブレット、ファックス、携帯電話、懐中電灯、電池、携帯電話用バッテリー、ハンドマイク、係腕章等
消火用	消火器、水バケツ、砂袋、可搬式小型動力ポンプ、防火服、ヘルメット、とび口
救出用	バール、はしご、のこぎり、スコップ、なた、ジャッキ、ペンチ、ハンマー、大ハンマー、ロープ、チェーンソー、エンジンカッター、チェンブロック、斧、一輪車、鉄パイプ、角材、防塵マスク、防塵メガネ
救護用	担架、救急セット
避難用	簡易トイレ（凝固式）、組立式シャワー、テント、毛布、トイレットペーパー、懐中電灯、投光器、発電機、燃料（ガソリン、灯油）、常備薬、大人用紙おむつ、乳幼児用おむつ、生理用品、警笛、標識板、名簿（自治会）、誘導旗、寝具・防寒具、着替え、電池式照明器具、電池 避難所避難のための水（3日分9L）、食料（9食）、
給水、給食	哺乳瓶、ミルク、携帯コンロ、調理セット（鍋、包丁、まな板等）
その他	リヤカー、ビニールシート、簡易収納庫

過去の自主防災組織の活動状況

自主防災組織名	活動内容
緑海地区 自主防災連合会	<p>◆防犯・防災フェスタ（第4回） 自衛隊・警察・消防車両の展示、炊出し訓練、校舎屋上避難場所確認、消火器の使用法、応急手当の講習、地震体験、避難者名簿の作成（訓練を兼ねて来場者の名簿への記帳）</p>
下町3丁目地区 自主防災組織	<p>◆消防団の指導による消火訓練（消火器、消火栓）《年1～2回》 ◆資機材の購入・配布（消火器：各班1個、防災セット（非常持出し袋・トイレセット）：各家庭に配布） ◆防災マップの作成 ◆自主防災会の役員名簿の作成 ◆高齢者声かけ見守り活動</p>
富士見台自治会 自主防災会	<p>◆組織の整備 ・自主防災会に専門性を持った役員を確保するため常任役員を設定した。 ・自治会班長を自主防災会役員に指定した。 ・自治会員の協力を依頼し、総会において情報交換を実施している。 ※課題：常任役員、協力者の安定的な補充</p> <p>◆設備・備品の整備 ・救助機材の整備：防災機庫、危険物庫、発電機、チェーンソー、ジャッキ、投光器等 ・避難所昨日の確立：救済必要者20名、150食、飲料水、ミルク、おしめ 携帯ガスコンロ、ロケットストーブ、簡易テント、生活用水雨水タンク ※課題：自治会費からの備品整備費の確保</p> <p>◆防災に関する訓練及び広報 ・夏祭りに合わせた避難訓練の実施 ・安否確認用の黄色いタオルを配布、タオルによる安否確認の実施 ・普通救命講習会の受講 ・啓蒙活動及び訓練の募集・報告等並びに年間の活動を広報誌を作成し広報 ※課題：訓練の継続が難しく、また、参加者の拡充が困難</p>

自主防災組織名	活動内容
田越地区 自主防災組織	◆消火訓練等の実施 実災害で木戸川の氾濫対応、火災対策及び炊出しを実施
田越地区 自主防災組織	◆自主防災設置推進事業により、資機材の整備及び薪作り。
宮前地区 自主防災会	◆自主防災会だよりの発行（年2回） ◆避難経路図の作成と避難場所の判別の割り当て。 ◆備蓄品と資機材の購入及び整備
白幡住宅 自主防災会	◆白幡地区及び白幡住宅のとの共同の防災訓練の実施（炊出し等） ◆消火栓による消火訓練を実施
白幡区 自主防災会	◆非常品の保管倉庫の設置 ◆非常時のトイレ、糧食の保管 ◆2012年より年1回の避難訓練の実施
宿南・みどり台	◆年1回、団地内公園での防災訓練
松尾地区 自主防災会	◆規約を作り、防災機材をそろえたが、区民への周知及び訓練をするまで至っていない。
諸木内区 自主防災会	◆AEDを使用した心肺蘇生 ◆非常食（アルファーマ）の試食
大木大地区 自主防災会	◆毎年春に避難訓練及び炊出し訓練を実施、この際、防災備品の点検、作動確認及び取扱い操作の教育を実施 ◆自治会の協力を得て地区全戸に消火器を配布
日向ニュータウン 自主防災会	◆28.10.15：通報訓練、消火訓練、応急手当訓練、煙ハウス体験 ◆29.11.5：安否確認、炊出し訓練

自主防災組織名	活動内容
日向台地区 自主防災防犯	<ul style="list-style-type: none"> ◆耐震車体験、煙体験、救急救命講習（胸骨圧迫、AED）、消防署見学、消防団水利点検同行 ◆HUG（避難所運営ゲーム）、DIG（災害図上訓練）勉強会、地区防災計画勉強会 ◆炊出し、キャンドルランタン作り、防災ビデオを放映、消火訓練（消火器、投てき水パック） ◆ガス発電機での携帯電話充電、避難訓練 ◆防災倉庫の設置、水の備蓄、避難場所看板の設置、資機材点検、取扱い操作 ◆「我が家の耐震診断冊子」回覧、ユニフォームの作成、のぼりの作成
原横地地区 自主防災会	<ul style="list-style-type: none"> ◆木戸川堤防防火のための草刈り及び消火訓練 ◆防災マップの作成（NHKHPによる。）
六軒家諏訪台 地区自主防災会	<ul style="list-style-type: none"> ◆昨年11月に緑海地区の防犯防災フェスタに参画し以下の訓練を実施 炊出し訓練、避難者名簿記入訓練、校舎屋上避難、消火訓練、煙避難訓練、応急手当講習、消防・警察・自衛隊車両展示 防犯講話、成東中学校吹奏楽部による演奏
小松岡区 自主防災会	
津辺区 自主防災会	<ul style="list-style-type: none"> ◆消火訓練（消火器、消火栓） ◆月1回（第3日曜日）防災役員による防災庫の点検、機器の作動確認 ◆区民による倒木・竹の処理 ◆台風通過後の地区見回り
関之下 自主防災組織	<ul style="list-style-type: none"> ◆津波避難訓練
蓮沼地区上谷区 自主防災会	<ul style="list-style-type: none"> ◆蓮沼地区連合会訓練に参加
五木田区 自主防止組織	<ul style="list-style-type: none"> ◆他地区の避難訓練への参加
姫島区 自主防災会	<ul style="list-style-type: none"> ◆3回の防災訓練を初期消火訓練を中心に実施

自主防災組織名	活動内容
蓮沼自主防災会 連合会	◆毎年、連合会で避難訓練を実施
愛宕台区 自主防災会	◆毎年、消防署、消防団の協力を得て消火訓練（消火栓、消火器）、応急手当の訓練を実施
北戸田下地区 自主防災会	◆東消防署による訓練 消火器、AEDの取り扱い、応急手当 ◆防災機器の動作確認 チェンソー、発電機

災害時情報入手方法

名 称	情報内容	備 考
安心・安全メール	市からの防災情報の入手ができます。防災無線の内容、給水や給食等の生活に必要な情報、り災証明の発行等の復旧・復興に関する情報等を確認できます。	登録が必要です。 パソコン https://sevice.sugunail.com/sammu/member/ 携帯電話 https://sevise.sugumail.com/sammu/
防災無線電話確認	防災無線の内容を電話で確認できます。	電話番号 0475-80-0172 電話案内の聞き直し メッセージ先頭 #0 前メッセージ #1 聞き直す #2 次メッセージ #3
山武市ホームページ	災害情報、民生支援に関する情報、復旧・復興に関する詳細な情報について確認することができます。	インターネット
千葉県防災ポータルサイト	千葉県の防災に関する情報を総合的に提供	
土砂災害警戒システム	土砂災害の危険度が高まっている地域が確認できます。	
川の防災情報	降水量及び水位データが確認できます。	
防災気象情報	大雨、暴風による特別警報・警報・注意報及び河川の水位情報を確認できます。	